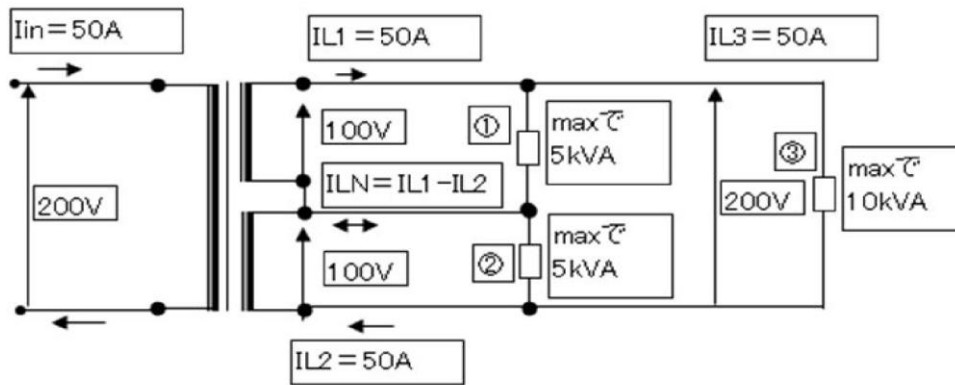


SNU シリーズ
単相3線出力の最大電流(10kVA)について

SNU シリーズ TS タイプは、単相 3 線 100V/200V 出力が準備されています。下記に 1 例を用いた容量計算の参考を示しますので、参考にしてください。

例



●条件

負荷装置 1	: 200V30A	6kVA	→③回路に接続
負荷装置 2	: 100V20A	2kVA	→②回路に接続
合計	8kVA		

◆問い

100V の『負荷装置 3』を、あと?kVA 追加接続可能か?

★回答

負荷装置 3 が接続可能な所を検討すると、
IL2 に流れる電流は

$$\text{『負荷装置 1』}(30\text{A}) + \text{『負荷装置 2』}(20\text{A}) = 50\text{A}$$

となり、最大電流の 50A となるため②回路に接続することはできない。
従って『負荷装置 3』は空いている①回路に接続する。

現状 IL1 に流れる電流は負荷装置 1 の電流(30A)となるため、

$$\text{『負荷装置 3』電流} = 50\text{A}_{\text{max}} - 30\text{A}(\text{負荷装置 1}) = 20\text{A}$$

◆負荷装置 3 は①回路に接続でき、最大で『20A 2kVA』までの機器が接続可能

※最大電流値以下であれば①回路と②回路のバランスを取る必要はありません。

